



大雨への備え

下水の逆流防止対策と「土のう」の代用として『水のうの設置』

大雨の時など、急激な水位の上昇により、下水管が満水の状態となり、下水が逆流し、トイレや風呂場、洗濯機の排水口などから、水が吹き出ることがあります。そのようなときは、ビニール袋に水を入れた『水のう』を置くと、逆流を抑える効果があります。

また『土のう』がなくても、『水のう』で、家への浸水を防止することができます。

水のうで逆流防止

ビニール袋に水を入れた『水のう』を置くと、逆流を抑える効果があります。



急激な水位の上昇により、下水が逆流することがあります。



■『水のう』の作り方

POINT

■45L程度のゴミ袋を用意にする

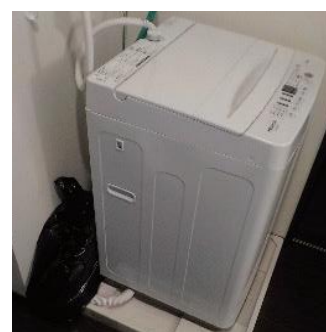
■二重にする

■水を半分の目安に約20L入れる

■口をしっかりと縛る



- ① 家庭用ビニール製のごみ袋(45L程度)を用意します。
写真は小松市指定のダイエット袋ですが、一般のごみ袋で構いません。
- ② ごみ袋を2枚用意し二重に重ね、水を半分の目安に約20L入れ、空気を抜いて口をしっかりと縛ります。



- ③ トイレの逆流防止には、『水のう』を便器の中に入れます。
- ④ お風呂の逆流防止には、『水のう』を排水口に入れます。
- ⑤ 洗濯機の逆流防止には、『水のう』を排水口に入れます。

■屋外での「土のう」の代用

屋外の出入口等で利用する場合は、段ボールとブルーシートを利用する

(玄関等の前に隙間なく並べると、浸水被害を軽減できます)

POINT

■水のうを設置した箇所にビニールシートを敷く

■その上に段ボールを置く

■段ボールの中に水のうを入れる

■段ボールを閉じてビニールシートで巻く



- ① 段ボールの中の水のう (水のう+段ボール+ブルーシート)
- ② 段ボールを閉じてブルーシートを巻く



- ② 段ボールの代わりにプランターを利用 (水のう+プランター+ブルーシート)
- ③ 段ボールの代わりにプランターを利用 (土+プランター+ブルーシート)